



令和4年4月14日
南魚沼市立北辰小学校
学校だより NO.1

校長 竹垣 雅彦



4月8日(金)に新1年生44名を迎え、新しくさわやかな活気が加わりました。全校274名による北辰小学校40周年がスタートしました。桜の蕾も膨らみ、春爛漫な好季節となりました。心は形をつくり、形は心を整えます。新たな気持ちで頑張ろうという心が授業はもとより、学校生活の随所に見られます。

4月7日(木)の始業式では、校章に込められた想いを子どもたちに話しました。北辰小学校の校章は、形は星を表しています。真ん中の北辰は、永遠の指針である北極星を意味しています。星の形を形成している曲線は、5つの大陸を表し、先端が開いているのは、北辰小学校で学んだことを生かし、世界に羽ばたいて活躍する想いが込められています。つまり、「どんな所でも、どんなときにも回りの人から愛される人間になってもらいたい」という願いが込められています。



北辰小学校の子どもたちは、一人一人がかけがえのない存在です。そして、一人一人輝くよさをもっています。そのよさを自分で見付けたり、周囲から気付かせてもらったりしながら磨いていき、「こうありたい。」「ぜひ、達成したい。」という具体的な目標をしっかりと立て、一生懸命に努力し、挑戦する。同様に、回りの友達もかけがえのない存在であり、よさをもっていることが分かり、人を支えたり、人から支えられたりしながら生活していることを実感し、絆を深めていく。そんな子どもたちを育てていきたいと思えます。

現在は、予測困難な次代をたくましく生き抜くために、困難な状況に立ち向かう資質が求められています。社会の変化に受動的に対応するのではなく、困難な問題に主体的に向き合い、他者とかかわり合って、創造的に生き、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくたくましい人間を育成することが求められています。

校章に込められた想いは、まさに、これからの社会に求められる人づくりを目指すものであります。

教職員も新たに10名が加わり、皆、心新たに教育目標「みつめて学ぶ もとめて生きる 笑顔をつなぐ」の実現に向け、見通しを立てて、スタートしています。教職員一同、持ち味を生かしながら誠意、熱意、創意をもって、教育活動に取り組んでいきます。

子どもが安心して学校生活を送り、成長していくためには、周囲の大人の役割が大切です。教職員が和み、団結して教育活動に当たる姿は、子どもにとって、最も身近な手本となります。そして、保護者・地域の皆様と学校が、コミュニケーションを図り、和み、協働する姿は、子どもにとって、安心して物事に挑戦する環境となります。

学校、家庭、地域の和と輪を一層確かなものにしながら、北辰小学校の子どもたちの健やかな成長を育んでいきたいと思えます。御理解、御協力をよろしくお願い致します。